

種類	必要度	サイズ	必要数	備考	買う
■短肌着	◎	50～60	4～7枚	短肌着は2, 3カ月しか使いませんが、赤ちゃんは汗かきですし、ミルクの吐き戻し等もありますので、短肌着は少し多めに用意しておく目安です。伸びが良く通気性の良い物がおすすめ	□
■長肌着	△	50～60	0～2枚	夏産まれの場合、長肌着の活躍はあまりありません。用意しなくても○	□
■コンビ肌着	◎	50～60	3～5枚	短肌着の代わりに使えます。短肌着同様、通気性の良いものがおすすめ。短肌着と合わせて10枚程度あればOK	□
■ボディースーツ	×	50～60	0枚	頭からかぶるタイプのボディースーツは、お座りが出来ないとき着せにくいのでしばらくは不要です。お座りの時期(7, 8か月頃)に再検討しましょう	□
■前開きボディースーツ	○	60～70	4～5枚	寝がえり時期(3～5か月頃)になると短肌着がはだけやすくなるので、前開きボディースーツがおすすめ 秋から使うので、長袖がおすすめ	□
■ツーウェイオール	○	50～70	2～3枚	新生児から肌着の上に着せるベビー服。ボタンの止め方で、ドレスタイプとカバーオールの2通りの着せ方が出来ます。新生児期はドレスとして、足が動くようになってきたらカバーオールとして使えます	□
■カバーオール	○	70～	1～2枚	カバーオールは、足の動きが活発になる2, 3カ月以降から着せます。ツーウェイオールをカバーオールタイプにして着せる事が出来るので、少なめでOK。	□
■ベスト・カーディガン	×	50～60	0枚	産まれたばかりは暑い時期なので不要	□
	○	70～	1～2枚	寒くなってきたら寝る時にベスト等を着せると○ 4か月～から使うので、70サイズ程度がおすすめ	□
■アウター	○	70～	1～2枚	生後4か月頃には、だんだん寒くなっていくので、アウターも1, 2枚は用意しておく○ 厚めのカバーオールでも○。フード付きにすると、帽子が不要なのでお得	□
■アフガン・おくるみ	◎		1～2枚	退院時に包んだり、ベビーカーのブランケット代わりや肌掛けとしても使えるので1枚あると便利。 大き目のバスタオルでも代用は出来ます	□
■汗取りパット	△		2～3枚	背中と肌着の間に入れて使います。エアコンを付けっぱなしにするなら不要	□
■帽子	○	40～	1～2枚	暑い時にかぶる通気性の良い物(新生児用)と、寒くなってきてからかぶる暖かい物(48, 52辺り)を1つずつ用意すると便利	□
■手袋	△		1枚	無くてもOK 爪で顔を引っ掻いてしまう子は、手袋があると便利	□
■靴下	○		2～3枚	赤ちゃんは足の裏で体温調整をします。基本的にははだしてOK。寒くなってきたときの外出時に使用	□
■レッグウォーマー	○		2～3枚	はいはいの時期のサポータとして、寒いときの防寒として長く使えるので、あると便利	□